

平成22年度一般会計補正予算説明資料

5款 労働費

2項 職業訓練費

雇用人材総室[労働政策室] (内線: 7 2 2 3)

2目 職業訓練校費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[債務負担行為] 職業訓練事業費	443,123	債務負担 行為額 110,593 349	債務負担 行為額 110,593 443,472	債務負担 行為額 110,593 349				
トータルコスト	609,324	349	609,673	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	20.6人	0人	20.6人	高等技術専門校における職業訓練の実施				
工程表の政策目標 (指標)	求人企業・求職者双方のニーズに応える訓練の実施: 訓練修了者の就職率80%以上を目指す							

説明

1 事業の目的・概要

県立高等技術専門校 (倉吉・米子) で実施する職業訓練に要する経費

[背景]

- 県内の雇用情勢は上向き傾向にあるものの、依然として厳しい状況。
 <有効求人倍率 (9月)> 0.62倍 (東部: 0.61倍、中部: 0.79倍、西部: 0.67倍)
- 新規高校卒業予定者の就職内定率は昨年に引き続く低水準であり、極めて厳しい状況。
 <内定率 (9月末)> H22: 33.4%, H21: 29.4%

2 主な事業内容

(1) 高校卒業未就職者対象訓練の準備経費 (349千円)

新規高校卒業予定者等の厳しい雇用情勢が継続しているため、高校卒業未就職者を対象とした訓練を23年度も継続実施するにあたり、3月頃に訓練カリキュラム策定及び教材作成等の準備を行う。(22年度に新設した訓練コース)

また、雇用のセーフティネットを充実させるため、23年度は対象者を高校卒業3年以内既卒者まで拡充して実施。ただし、新規高校卒業未就職者を優先。

※最終的な訓練実施の有無は、今後の内定状況を注視し、23年1月頃に判断。

実施方法	各高等技術専門校 (施設内) において実施
訓練期間	1年程度 (短期課程)
スケジュール	募集期間: 平成23年3月中旬~4月上旬 訓練期間: 平成23年4月中旬~平成24年3月
定員	40名 (倉吉校20名、米子校20名)
訓練内容	パソコンの技術修得に加え、簿記等の資格取得及び社会人としてのビジネスマナーなどの習得をめざす訓練

(2) 23年度第1四半期に実施する離職者対象訓練に係る債務負担行為

民間への訓練委託を早期に行い、年度当初から訓練を開始することで、離職者の早期就職につなげる。(3月から訓練生募集を開始)

なお、雇用情勢が特に思わしくない東部地区について、離職者訓練の定員を重点的に設置し、雇用のセーフティネットを大幅に充実。

<23年度第1四半期> 定員341名 (東部: 185名、中部: 61名、西部: 95名)

年 度	債務負担行為額	備 考
23年度	82,243	介護系、パソコン系などの短期訓練
24年度	28,350	介護福祉士養成科 (2年コース)
計	110,593	

3 これまでの取組状況、改善点

- ・引き続き厳しい雇用情勢に対応するため、離職者訓練の定員を大幅に拡充。
- ・22年度、新規高校卒業未就職者対象訓練を新設し、雇用のセーフティネットを充実。